



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ソノコム

コード番号 7902 URL <http://www.sonocom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 嶋野 公一

問合せ先責任者 (役職名) 業務部次長

(氏名) 宮寺 利宗

TEL 03-3716-4101

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	979	21.5	149	78.8	170	66.5	156	23.1
27年3月期第2四半期	805	9.3	83	—	102	—	127	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	40.04	—	—	—
27年3月期第2四半期	32.53	—	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
28年3月期第2四半期	7,996	1,836.37	7,189	1,836.37	89.9	1,836.37	1,836.37	
27年3月期	8,097	1,812.67	7,096	1,812.67	87.6	1,812.67	1,812.67	

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 7,189百万円 27年3月期 7,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,750	6.1	210	30.7	240	14.0	245	1.5	62.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	5,000,000 株	27年3月期	5,000,000 株
28年3月期2Q	1,085,036 株	27年3月期	1,085,036 株
28年3月期2Q	3,914,964 株	27年3月期2Q	3,914,964 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善されるなど緩やかな回復基調となりました。一方、中国の景気減速や米国の利上げ観測などから、先行きは不透明な状況にあります。

当社が属するスクリーン印刷用製版業界におきましては、主要顧客である電子部品業界において、スマートフォンや自動車関連の部品の需要拡大により、一部の製品の出荷額が増加傾向にありますが、本格的な回復には至っておりません。

このような状況のもと、当社におきましては、営業・製造・技術が一体となり、高精度製品の安定生産、生産効率の向上に取り組んでまいりました。その結果、売上高につきましては、製品売上高8億59百万円（前年同期比16.6%増）、商品売上高1億19百万円（前年同期比75.5%増）となり、売上高合計9億79百万円（前年同期比21.5%増）となりました。

利益面におきましては、売上高の増加と継続的に取り組んでまいりました経費削減等が功を奏し、営業利益1億49百万円（前年同期比78.8%増）、経常利益1億70百万円（前年同期比66.5%増）、四半期純利益1億56百万円（前年同期比23.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①スクリーンマスク

当セグメントにおきましては、表示素子や受動部品用の売上が増加した結果、売上高7億円（前年同期比17.9%増）、セグメント利益2億27百万円（前年同期比36.8%増）となりました。

#### ②フォトマスク

当セグメントにおきましては、表示素子用のフォトマスクの売上が堅調に推移した結果、売上高1億59百万円（前年同期比10.8%増）、セグメント利益62百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

#### ③その他

当セグメントにおきましては、スクリーン印刷用資機材の売上が堅調に推移し売上高1億19百万円（前年同期比75.5%増）、セグメント利益18百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して、1億円減少して79億96百万円となりました。負債は、1億93百万円減少して8億7百万円となりました。純資産は、92百万円増加して71億89百万円となり、その結果自己資本比率は、89.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて14百万円減少し、17億57百万円（前年同期 13億89百万円）となりました。

また、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、営業活動の結果得られた資金は、前年同期比85.4%減の20百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益1億91百万円があったものの、売上債権の増加62百万円や法人税等の支払額29百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、投資活動の結果使用した資金は、前年同期比77.0%減の14百万円となりました。これは主に、投資有価証券の償還による収入1億1百万円があったものの、投資有価証券の取得による支出1億3百万円や有形固定資産の取得による支出7百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は、前年とほぼ同額の19百万円となりました。これは、配当金の支払額19百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,227,801	2,185,667
受取手形及び売掛金	475,417	537,610
有価証券	943,500	971,611
商品及び製品	4,038	3,831
仕掛品	30,439	36,396
原材料及び貯蔵品	55,966	64,217
その他	16,104	40,548
貸倒引当金	△2,044	—
流動資産合計	3,751,224	3,839,883
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	700,481	681,700
機械及び装置（純額）	136,362	125,747
土地	1,390,510	1,390,510
その他（純額）	19,218	20,373
有形固定資産合計	2,246,572	2,218,331
無形固定資産	5,794	5,011
投資その他の資産		
投資有価証券	1,852,323	1,687,260
その他	241,530	246,022
投資その他の資産合計	2,093,853	1,933,283
固定資産合計	4,346,220	4,156,626
資産合計	8,097,444	7,996,509
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	151,821	162,677
未払法人税等	29,955	35,800
引当金	31,554	35,208
その他	306,281	119,441
流動負債合計	519,611	353,127
固定負債		
退職給付引当金	27,637	18,013
役員退職慰労引当金	354,246	358,529
繰延税金負債	99,427	77,524
固定負債合計	481,311	454,067
負債合計	1,000,922	807,195
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	925,750	925,750
資本剰余金	1,405,550	1,405,550
利益剰余金	5,239,209	5,376,379
自己株式	△681,151	△681,151
株主資本合計	6,889,357	7,026,527
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	207,163	162,786
評価・換算差額等合計	207,163	162,786
純資産合計	7,096,521	7,189,314
負債純資産合計	8,097,444	7,996,509

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	805,647	979,092
売上原価	537,288	643,186
売上総利益	268,359	335,906
販売費及び一般管理費	184,719	186,384
営業利益	83,639	149,522
営業外収益		
受取利息	18,274	18,905
為替差益	2,478	—
その他	1,707	3,940
営業外収益合計	22,460	22,846
営業外費用		
固定資産除却損	3,533	87
投資有価証券償還損	—	1,150
為替差損	—	326
その他	0	0
営業外費用合計	3,534	1,564
経常利益	102,565	170,804
特別利益		
受取弁済金	34,601	20,734
特別利益合計	34,601	20,734
税引前四半期純利益	137,167	191,539
法人税、住民税及び事業税	9,814	34,794
法人税等合計	9,814	34,794
四半期純利益	127,353	156,744

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	137,167	191,539
減価償却費	45,499	45,792
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,628	9,754
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,221	4,282
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△10,062	△9,623
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△6,100
受取利息及び受取配当金	△18,943	△19,682
為替差損益 (△は益)	△2,478	326
有形固定資産除却損	3,533	87
投資有価証券償還損益 (△は益)	—	1,150
受取弁済金	△34,601	△20,734
売上債権の増減額 (△は増加)	△16,118	△62,193
たな卸資産の増減額 (△は増加)	8,644	△14,000
仕入債務の増減額 (△は減少)	△27,112	10,856
その他	△7,183	△122,484
小計	91,193	8,969
利息及び配当金の受取額	18,589	19,823
弁済金の受取額	34,601	20,734
法人税等の支払額	△6,884	△29,003
法人税等の還付額	3,452	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	140,951	20,524
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,000,000	△700,000
定期預金の払戻による収入	300,000	700,000
有価証券の償還による収入	700,000	—
有形固定資産の取得による支出	△55,539	△7,880
投資有価証券の取得による支出	△4,942	△103,443
投資有価証券の償還による収入	4,995	101,076
その他	△8,552	△4,484
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,038	△14,732
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△19,514	△19,488
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,514	△19,488
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,478	△326
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	59,876	△14,023
現金及び現金同等物の期首残高	1,329,842	1,771,301
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,389,719	1,757,278



## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	スクリーンマスク	フォトマスク	計		
売上高					
外部顧客への売上高	593,724	143,942	737,666	67,980	805,647
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	593,724	143,942	737,666	67,980	805,647
セグメント利益	166,136	57,203	223,340	15,354	238,695

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「スクリーン印刷用資機材」等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	223,340
「その他」の区分の利益	15,354
全社費用(注)	△155,055
四半期損益計算書の営業利益	83,639

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	スクリーンマスク	フォトマスク	計		
売上高					
外部顧客への売上高	700,288	159,468	859,757	119,335	979,092
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	700,288	159,468	859,757	119,335	979,092
セグメント利益	227,304	62,726	290,030	18,551	308,582

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「スクリーン印刷用資機材」等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	290,030
「その他」の区分の利益	18,551
全社費用（注）	△159,060
四半期損益計算書の営業利益	149,522

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。